

## Official TEST Report

### 2016/3/14～15 SUZUKA 1<sup>st</sup> Official test

モータースポーツシーズンインの風物詩、3月12～13日に開催されたモータースポーツファン感謝デーは、4万人以上のファンで大盛況となった。

ファン感謝デーでのテストランやデモレースを含め、鈴鹿で連続4日間という開幕前の貴重なテスト機会となった第1回目公式テスト。14日は雨と低温により午前のみ走行となってしまうが、2日目は午前午後計約4時間30分のドライセッションに恵まれた。

雨天で始まった公式テスト1日目、3年目を迎えた野尻選手と、新たに加わったバンドーン選手は共に、コース習熟とセットアップの確認などを中心に、メニューを消化してゆく。また、今期より採用されたヨコハマタイヤのウェットタイヤテストも重要項目として精力的に周回を重ねたいところだが、ヘビーレインの路面状況に加え、気温7度、路温9度という低温状況から、バンドーン選手は開始10分でグリップを失いクラッシュ。マシンにダメージを負って1時間以上を失ってしまうことに。その後もコースアウトする車両が続出。そのため、午後の走行はキャンセルとなった。

公式テスト2日目、午前中から1分37秒台に入る高次元タイム領域でのテスト推移ながら、ルーキー バンドーン選手は、常時トップ5のタイムで周回を重ね、大物ルーキーとしての存在感を見せつけた。野尻選手はテストメニューを消化し多くのデータを収集した。テスト終盤、ニュータイヤで予選シミュレーションにコースインした野尻選手は5位で、バンドーン選手は10位でテストを終えた。

#### 40：野尻智紀 選手 総合5位（ホンダ勢2位）

DOCOMO TEAM DANDELION RACING で迎える3年目のスーパーフォーミュラ。GP2チャンピオンをチームメートに、真価を問われるプレッシャーも感じながら臨んだ公式テストでした。ヨコハマタイヤについては、基本的な部分から詳細なところまで、様々に確認できました。岡山に向けても、方向性やウィークポイントなど見えてきましたので、更に仕上げて第2回公式テスト岡山に向けて準備します。

#### 41：ストフェル・バンドーン 選手 総合10位（ホンダ勢4位）

とてもポジティブなテストでした。自身のミスからスピンでダメージを受け、貴重なテストの時間を失ってしまう場面もありましたが、雨でもドライでも、車は走るだけ速くなり、特にユーズドタイヤでは非常に競争力がある事を感じました。チームの持つ総合力を十分に感じ、またSFのタイヤの使い方、予選の戦い方など理解できた素晴らしいテストでした。テスト結果をチームとともに解析し、岡山テストに臨みます。